

(様式1)

令和6年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

| | |
|---|---|
| (整理番号) 053 | 提案機関名 長井町漁業協同組合 |
| 要望問題名 磯焼けで枯渇しているアラメ・カジメ・アカモクの種苗生産と増殖技術開発について | |
| 要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 当漁協では、12年前より磯焼けの進行により、地先海面においてアラメ・カジメ・アカモクが枯渇しております。その結果、組合員の重要な収入源であるそれらの海藻を餌とするサザエ・アワビ等の貝類の漁獲量も減少し、漁業収益の減少に直結しております。また、アカモクはメバルやカサゴ等の生息する藻場としても重要な海藻であります。 そこで、下記3点をお願いいたします。 ①水産技術センター栽培推進部で生産している早熟カジメ種苗を用いた、水深3m以深におけるカジメ増殖技術開発 ②水深3m以浅の浅場は、新たにアラメ種苗生産技術を開発して、それを用いた増殖技術開発 ③アカモク種苗を用いた藻場再生技術開発 | |
| 解決希望年限 | ①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内 |
| 対応を希望する研究機関名 | ①農業技術センター ②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター ④自然環境保全センター |
| 備考 | |

| | | | |
|---------|--|------|-------|
| 回答機関名 | 水産技術センター | 担当部所 | 企画研究部 |
| 対応区分 | ①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可 | | |
| 試験研究課題名 | (①、②、④の場合) 藻場再生技術高度化試験 | | |
| 対応の内容等 | 当センターでは、早熟性カジメやアラメの人工種苗を活用し、様々な水深帯での藻場の再生研究に取り組んでいます。また、アカモクについても種苗生産試験を実施しています。当センターが生産したアカモク種苗を横浜市、逗子市、三浦市及び小田原市の各漁協に供給し、ワカメ養殖に用いる既存の資材を有効活用してアカモクの養殖試験に取り組んでいます。今後も各地の要望を取り入れ、アカモク種苗を養殖試験に供給して参ります。 引続き、県内の漁業関係者や市町等と連携しながら、藻場の再生と水産資源の回復に取り組んでまいりますので、ご協力をお願いします。 | | |
| 解決予定年限 | ①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内 | | |
| 備考 | | | |